

《メールアドレス》  
akito.n@m3.dion.ne.jp

市議会議員 中野あきと事務所ニュース

## みといと清流

2005年 4月発行 第40号  
日本共産党中野あきと事務所  
日野市南平7-6-72 Tel599-3350  
〒191-0041 発行責任者 小山敏正

しん 赤旗

日刊紙1ヶ月・2900円  
日曜版1ヶ月・800円  
お申し込みは  
南多摩事務所  
Tel042-374-4384  
又は、中野事務所へ

生活・法律相談など  
お気軽にお立ち寄り下さい



### 「会」のパンフに公明市議

#### 「ウソだ」と噛み付いてみたが

市長選目前の3月市議会。公明市議が、「平和と緑のまちでくらしたい」日野市民の会発行のパンフレットに「ウソだろう」と一般質問の中で噛み付きました。

しかし自分で根拠を示すことができず、もっぱら市側に「新撰組事業大赤字はウソだろう」、公立保育園の園児一人当たりの食材費が「多摩市340円に対し230円はウソだろう」と回答を求めるありさま。

市側は新撰組事業について、「会」のパンフレットの指摘には全く答えることができず「全国でもこういうイベントの収支は実行委員会の中で出されており、今回の場合は黒字といえる」などと答弁。しかし歳入全体の約半分は、都と市の補助金や負担金など多額な税金投入が実態で、入場料など事業収入で事業費をまかなえなかったわけですから、市民常識からすれば「赤字」と考えるのは当然でしょう。パンフレットの指摘はこれだけではありません。実行委員会以外にも3年間で8億円の支出があるのです。

保育園の食材費の比較はまぎれもない事実。市側は「食材の一括購入で経費を抑えることができ問題はない」と答弁。食材の一括購入は、集団食中毒の経験から避けるのが常識。とんでもない答弁が飛び出したものです。



三月議会が終わり、今私は、「市民の会」の事務所にもつめて、市政を変えたいという大勢の方々と仕事をしています。ここに居て痛感すること。それはなぜ、こんな広範な結集がみられるのかということです。

南部病院用地の売却や、大型マンションの建設ラッシュによるまち壊しの誘導。一方的な幼稚園や学校の統廃合。最近ではふるさと博物館を小学校の空き教室に追い出し、その跡を新撰組の観光施設にする構想が、関係者や市民の間で大問題になっています。

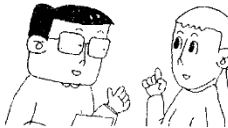
「お金が無い」と言って我慢を押し付けながら、湯水のように税金が投入された新撰組事業。

「市政を変えたい」の一点での団結。この力で「市民参画」とは裏腹な「隠す」「聞かない」「押し付ける」、こんな市政を変えましょう。

問題は広範な市民の中に、どこまでこの声を広げられるかです。

中野あきと

### 夫婦の 市政問答



## 広がりをもせる「市政を変えたい」の思い

〔夫〕 市長選の投票日もだんだん迫ってくるね。君も「市民の会」でがんばっているようにだけ。

〔妻〕 共産党も参加して「平和と緑のまちで暮らしたい・市民の会」がつくられ、本当に幅広い人たちがこんな市政を変えたいという一点で団結してがんばっているわ。

〔夫〕 前回までの市長選では見られない広がりでそうだね。やはり市政への不満がそれだけ強いのだろうか。

〔妻〕 二月二十日に行なわれた「春を呼ぶつどい」では、巨大マンション建設や法の盲点を利用して計画された地下室型マンション建設の問題で立ち上がった人たち、学校や幼稚園の統廃合問題で運動した人や、古い町名を残せと声をあげた人などが、熱心に訴えていたわ。

〔夫〕 前回は現市長を支持したが、こんな市政は変えたいと言っている人もいるらしいね。現市長は「市民参画」が看板のはずだが、やることはどうもそうではない。

僕も小学校の統廃合問題の説明会に出たことがあるが、出された資料を見てびっくりした。

〔妻〕

三十数頁に及ぶ資料



## 都議会自民党が共産党攻撃

### 「福祉切捨て」の主張を攻撃してみたが

市議会でも都議会でも、自民党や公明党が共産党の主張を攻撃してくる手段は一緒のようです。「共産党はこう言っているが事実か」と質問し、市や都側に都合の良い答弁をさせ、共産党はインチキと攻撃するやり方です。

三月十一日の都議会予算特別委員会では…。

自民党都議は「共産党」とされ、福祉予算が低は福祉切捨てとか的外れくなることは常識です。の主張をしている」との政令市を抱えていないべ、他の道府県の人口一県の場合、一人当たり福人当たりの福祉関係予算が七万円台、青森などがどうなっているかを質問。福祉保健局長に「都が五万五千円と最も高く、他の道府県の一・二倍から二倍」と答弁されました。

都側の数字は、政令市を抱える道府県だけを抽出して比較したものです。政令市を抱える道府県の場合、県がおこなう福祉施策の多くは政令市の仕

「赤旗」日刊紙  
三月十三日記事より一部転載



### みえ子の 飛びある記



市政でいま訴えていること  
前都議会議員 村松みえ子

今度の市長選挙、私は二つの理由から特別の思いで訴えを行なっています。

ひとつは、私達女性がもっとも憎んでいる戦争の危機への思いからです。憲法を変えるための手続きである国民投票法案の審議が日程にのぼり、9条改悪へとまっしぐらに突き進もうとしています。それだけに「国の決めたことに肅々と従う」という市政なのか、それとも平和と暮らしを守るためにがんばる市政かが問われる選挙なのだと思っています。平和を守るために、すべての女性と手をつなぎたいという思いでいっぱいです。

もう一つは、「市民参画」の問題です。私は現市政が行なった南部病院用地の売却問題を忘れることはできません。南部地域の医療施設不足は深刻な問題で、医療施設実現のために私も駅頭で署名行動をしたり、ネックとなっていた都のベッド数規制の見直しを実現してきました。しかし突然、用地周辺の方や長年運動を続けてきた人にも、市民にも、何の相談も無く用地が売り払われてしまいました。

こうした「市民参画」という看板とは全く逆の現市政に変わり、市民参加の自治を理念にもつ市民派の弁護士さんこそ、本当の市民参画の市政が実現できると訴えています。



まさに福祉も食い物です。



\*ミニ・ニュース\*

- ☆3月20日、平山地域で「平和と緑のまちでくらしたい」市民の会の地域のつどいが開かれました。連日奮闘する市民派弁護士を囲んだ話し合いが行なわれました。
- ☆3月26日には豊田、西平山、東平山「市民の会」の市民派弁護士を囲むつどいが行なわれました。同地域では3回目のつどいとなります。
- ☆3月29日夜、七生公会堂で「変えよう市政を・日野市民のつどい」が開かれ各分野からの発言の後、まちづくり政策が発表され、候補者との政策協定が締結されました。

#### 《5月・6月の無料法律相談》

5月12日(木) 午後1時～3時

市役所6階・共産党控え室

6月2日(木) 午後6時～8時 村松みえ子事務所

6月9日(木) 午後1時～3時

市役所6階・共産党控え室

※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

村松事務所 Tel582-0504

中野事務所 Tel599-3350

### 短信

「国会中継もつたないからテレビ消し」新聞の川柳です。「審議の空洞化、形骸化は目を覆うばかり」「二大政党の流れが本当にいいのか」そんな論調も。質問時間が少なくなったわが党の責任も痛感する次第です。▼短縮させられたとはいえ日野市議会では、議員一人に一時間の本会議一般質問があります。三月市議会の一般質問に立った共産党の中谷好幸議員団長は、市が十億円の補助金を出して社会福祉法人がつくる特養ホーム計画の疑惑を追及しました。あまりの内容に静まり返る議場。なにしろヤジ將軍をもつてなる与党の有力議員の関係者の名前まで指摘されたのですから。圧巻でした。▼「議員の会計責任者が商売をやっちゃ悪いのか」「不動産屋業者が土地を高く貸そうとするのは当たり前だろ」「弁護士が人権侵害をしている」。当のヤジ將軍の委員会の中の八つ当たり質問です。特養ホームを運営する福祉法人では収益が上げられません。しかし高額な借地料を同属の不動産業者が受け取る仕組みをつくらば…。